



平成二十四年・壬辰 みづのえ たつ

年頭挨拶



宗像大社 宮司 高向 正秀

平成二十四年の新春を迎え、謹んで皇室の弥栄と国家の隆昌、更には氏子崇敬者皆様方の益々のご繁栄とご健勝をご祈念申し上げます。また平素より氏子崇敬者皆様方の真心からなるご奉仕・ご奉賛を賜り、お蔭をもちまして諸祭儀恙無く斎行出来ましたこと深く感謝し篤く御礼を申し上げます。

お正月とは歳神様をお迎えし、これを饗え和めることでその年の幸福を願うものであり、日本人の生活にとって一年で最も清々しいときでありましょ

う。

元旦早朝、宮中では天皇陛下御自ら四方拝をご親祭遊ばされ、国家の隆昌、国民の安泰そして世界の平和をお祈りになられます。また、全国の神社においても歳旦祭が執り行われ、天地四方の神々に祈りが捧げられます。

そして殆どの国民が神社に初参りし、幸多き年となるよう祈るのであります。元旦を一つのけじめとして改めて神を敬い、今の有り難さに感謝し、新しい年の幸を神々に予祝することは、まさに神国日本ならではの初春の姿です。

昨年は、未曾有の大災害が相続き私共は改めて大自然の脅威に対する畏怖の念を抱いた一年でありました。被災された方々に心からお見舞い申し上げますとともに、速やかなる復興をお祈り致します。また被災地等で必要とされる支援は日々変化していますが、今後も効果的な復興支援の在り方を模索し継続してまいります。

そのような時世の中、新年を迎え日本国中が明るい未来を期待し、新たな一歩を踏みださそうと全国の神々に篤い



誓いと祈りがなされたことでしょうか。

その一歩が後に続く確かな足跡となるためには礎をなす確固たるものの形成が必要となります。震災等の非常時に発揮された人々の「絆」は互助意識が健在であることを示しました。しかし日常の現況は如何でしょうか？

昨今のあらぬ風潮なのか、家族の絆が薄れたのか、自身で最後を迎えるための準備を進める高齢者が増加していると耳にしました。これでは何か社会の根源が間違っているように感じます。

敬神崇祖の精神を起し、次世代に確実に精神性を繋ぐことで家族家庭という基本的根幹を再構築し、社会全体においても公益性に目を向け、その役割の重要性を誰もが再認識すべきではないでしょうか。今こそ民族の伝統的な醇風美俗を復興するためにも日本人本来の姿とは何か、皆様と共に考えたく存じます。

最後になりましたが、初詣で神前に祈る皆様の手が、明日の日本を生み出す力となることを祈念申し上げます。年頭のご挨拶いたします。

宗像大社職員										宗像大社責任役員会																																																												
名譽宮司					宮司					代表役員					責任役員																																																							
養父	太田	高向	高津	渡邊	杉山	長友	佐々木	中原	神島	坂本	御床	大塚	臺岐	松野	吉野	鈴木	日高	船越	石井	岡田	澤崎	山中	山口	高田	神野	石田	古野	山下	高向	出光	松尾	長尾	麻生	出光	田中	清水	伊東	谷	伊東	松井	養父	清水	安部	寺島	正秀	昭介	新吾	亜夫	泰夫	豊二	晃一	正明	俊一	正守	正敏	照生	俊基	正秀	昭介	新吾	亜夫	泰夫	豊二	晃一	正明	俊一	正守	正敏	照生	俊基
宗像大社氏子会										宗像大社・中岡宮奉賛会																																																												
監事					副会長					会長					副会長																																																							
福田	安永	福田	仲幸	治允	置站	玄二郎	古賀	善理	松井	善徳	瀧口	幸男	山本	實夫	城野	和彦	安部	和彦	小島	正弘	古賀	敏明	藤田	藤雄	沖西	彩香	衛藤	愛理	森	千尋	重住	真貴子	石津	典秀	吉武	律子	花田	純子	井上	光生	奥宮	種男	深田	仁	岩佐	光二	吉田	和弘	阿部	和代	竹本	百合子	七田	かよ子																
宗像大社職員										宗像大社氏子会																																																												
学芸員					事務員					管理員					調理員					非常勤管理員																																																		
沖西	彩香	衛藤	愛理	森	千尋	重住	真貴子	石津	典秀	吉武	律子	花田	純子	井上	光生	奥宮	種男	深田	仁	岩佐	光二	吉田	和弘	阿部	和代	竹本	百合子	七田	かよ子	力丸	正輝	榎田	行子	藤島	ツタエ	吉田	達子	吉田	達子	岩佐	保雄	砂嶋	一明	井上	善行	石井	善行	河津	奈津子	大西	晶子	花田	みどり	大西	晶子															
宗像大社職員										宗像大社氏子会																																																												
巫女					嘱託					非常勤講師					非常勤講師																																																							
山下	奈美	古野	愛美	通花	彩	神野	彩	高田	詩織	山口	志保	澤崎	有希	岡田	華代子	石井	あゆみ	船越	裕介	石井	あゆみ	岡田	華代子	澤崎	有希	山中	志保	山口	詩織	高田	詩織	神野	彩	古野	愛美	山下	奈美																																	

年頭挨拶



福岡県知事

小川 洋

あけましておめでとございます。皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

「宗像・沖ノ島と関連遺産群」が平成二十一年一月にユネスコ世界遺産暫定リストに記載されて以来、福岡県は宗像市、福津市と共同で、市民団体、経済団体、文化団体などの皆さまと「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議を結成し、世界遺産登録に向けて官民一体の取り組みを推進しています。宗像大社および地域の皆さまにも、平素から本活動に多大なご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

本推進会議では、国内外の専門家

が研究成果を発表する学会会議を開催し、本遺産群の価値やコンセプトおよび構成資産について議論を重ねました。今後も、専門家を中心として学術的な検討を続け、本遺産群が国や民族の垣根を越え、人類全体にとって「顕著な普遍的価値」があることを明らかにしていきたいと思っています。

世界遺産登録に向けては、地元の機運を盛り上げることが必要です。昨年は、歌手の森口博子さんに続き、宗像市出身であり、NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」に出演された俳優の藤本隆宏さんにも「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産応援大使に就任していただきました。今後は、お二人の協力も得ながら、本遺産群のさらなる知名度向上のため、広報活動を行ってまいります。

また、福岡市において写真パネル展示、DVD上映のほか、専門家による公開講座を行い、神宿る島として人々の篤い信仰を集めている沖ノ島について、多くの皆さまに関心を持っていただくことができました。さらに、本遺産群の全国的な知名度を上げるため、東京でも国際シンポジウムを開催し、韓国国立中央博物館の専門家に、朝鮮半島の航海の祭祀及び沖ノ島祭祀との関連性につ

いて講演していただきました。

世界遺産とは、人類共通のかけがえない財産として、次の世代に受け継がれていくべきものです。大陸との交流において重要な役割を果たした沖ノ島と、その信仰を今日まで継承している宗像大社は、これまで地域の皆さまの信仰を支えられて受け継がれてきたすばらしい遺産です。世界に誇れる本遺産群を将来の世代に確実に継承するため、今後も世界遺産登録活動に一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

新しい年が、皆さまとご家族にとって、希望あふれる年となりますよう心から祈念いたします。



沖ノ島視察



画像情報企業
株式会社 ゼネラルアサヒ
〒812-0064
福岡市東区松田3丁目777番地
TEL 092-611-8311



デジタルグラフィックス研究所
宗像市アスティ1丁目5番地



年頭挨拶



宗像市長
谷井 博美

明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、希望に満ちた輝かしい平成二十四年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より「宗像・沖ノ島と関連遺産群」の世界遺産登録推進活動をはじめとする宗像市政に温かいご理解とご協力を賜り、改めて感謝申し上げます。

さて昨年を振り返ると、三月十一日に起きた東日本大震災により東北地方に甚大な被害が発生したことをはじめ、原子力発電所の事故に伴う電力危機、歴史的な円高に伴う製造業への多大な影響など、日本にとって非常に厳しい、激動の年となりました。このような中、本市としまし

ても、東北被災地復興の一助となるよう、職員の派遣などに取り組みでまいりました。被災地の一刻も早い復興を心からお祈りいたします。

宗像大社は、皆様ご存知のとおり、市杵島姫神、湍津姫神、田心姫神の三女神をまつる全国六、四〇〇社の総本宮であり、古来より神郡宗像の象徴、宗像地域住民の心のよりどころとして、輝かしい歴史と文化を築き、発展してまいりました。また、本市は宗像大社を抜きにして語ることはできず、まさに先人の方々が私たちに残していただいた貴重な財産と言えます。今後も宗像大社は本市のシンボルとして、大きな役割を果たしていただくこととなります。

この貴重な宗像大社を中心とする関連遺産群を保全し、後世の子どもたちに大切に継承していくとともに市民にここ宗像地域にある貴重な歴史、文化、自然を再認識し、ますます地域への誇りと愛情をもっていただくために、市では世界遺産登録活動をより一層推し進めてまいります。昨年二月には「世界遺産国際シンポジウム」が東京で開催され、森口博子さんに続



宗像市長・谷井 博美
宗像大社 代表 藤本隆宏氏

最後にありますが、平成二十四年もますますのご繁栄の年になりますことを祈念いたしますとともに、御崇敬の皆様のご多幸、ご健勝をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

き、NHKの大河ドラマ「坂の上の雲」に出演された藤本隆宏さんにも応援大使に就任していただき、大きな仲間を得ることができました。また九月には市民ミュージカル「むなかた三女神記」の公演が行われるなど、市民活動もますます活発になってきています。今年の春には郷土文化学習交流館がオープンしますので、宗像大社神宝館との連携をますます深め、文化や世界遺産登録活動の発信拠点として位置付けたいと思います。

今年もこのように市民の力を結集し、また交流館も活用しながら、世界遺産登録に向けた活動をこれまで以上に福岡県、福津市、宗像市が一体となってさらに加速させていきたいと存じます。宗像大社におかれましては、今後も引き続き本市の発展に向けて、温かいご理解とご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

暮らしの真ん中に



西日本新聞社

<http://nishinippon.co.jp/>

- 本社 福岡市中央区天神1丁目4番1号 〒810-8721
TEL 092(711)5555(代) FAX 092(711)5152
- 北九州本社 北九州市小倉北区田町19-5 〒803-8515
TEL 093(561)1131 FAX093(561)7793
- 東京支社 東京都中央区八重洲2-8-7福岡ビル 〒104-0028
TEL 03(3273)8585 FAX03(3273)8586
- 大阪支社 大阪府中央区北浜3-1-21松崎ビル 〒541-0041
TEL 06(6202)6351 FAX06(6202)6356

古式祭・鎮火祭

八百余年の歴史

古式祭

去る十二月十八日未明、古式祭が

迎津宮御本殿にて厳かに斎行された。

古式祭は、新穀を御神前にお供え

し神々に五穀豊穡を感謝し、祭典後の

「御座」では奉仕者・参列者も神々と

御膳を共にする神事であり八百年以

上の歴史を誇る。御神前には、新米

の御飯・海川山野の幸のほ

か、菱餅、九年母(くねん

ぼ・蜜柑の一種)を特製の竹

かごに入れた「御菓子」と云



(海藻)が捧げられる。

祭典では、豊穡を神々に感謝する

祝詞を宮司が奏上、引き続き奉仕神

職並びに参列者によって古伝の歌が

奏された。

千早振

第一ノ宮(第二ノ宮・第三ノ宮)の

木綿褌 掛けての後は

楽しかりけり

祭典終了後、清明殿にて「御座」が

行われた。御座は、伝統により

地元田島区によって執り仕切ら

れ、今年の当番班は田島区本村

班が務めた。一座五十名で、午

前六時三十分から一番座が始ま

り、今年は一五番座迄計二二七名

が参列した。参列者は、

忌穂が刺し立てられた

御飯や田楽・ガメ煮・な

ま酢・みそ汁などを栗箸

で食した。又くじ引きも

行われ、神札・翁面・御

神盃などが参列者に授

与された。御座は、神様

と御膳を共にし一年の喜

びを分かち合う「神人和

楽」に本来の目的がある。

午前十時三十分には、最後の御座も
終了し、今年の古式祭も滞る事無く
終了した。

火神の荒びを鎮める

鎮火祭

古式祭終了後、午前十時より鎮

火祭が斎行された。「ほしずめの祭」

とも言われるこの神事は、火神の荒

びを鎮め、その災いを受けること

ないように祈る神事である。神話で

は火神の荒びを、水神が「ひさご」、

埴山姫神が「川菜」を以て鎮めたと

ある。祭典でも宮司以下二名の神職

が拜殿にて、火打石で忌火を起こし、

「ひさご」で水を火に注ぎ、次いで「赤

土」、最後は「川菜」で覆い鎮火が行

われた。

祭典には、谷井宗像市長・小山福

津市長を始め、阿部・伊豆両県議会

議員、宗像警察署、宗像市消防本

部、宗像・福津市

の消防団関係者、

置鮎氏子会々長

らが参列し、寒

さが一段と厳し

くなり火気を使

用する機会が多

くなる年末年始

の平穏を祈った。



あなたのいちばんに。

FFG ふくおかフィナンシャルグループ

明けましておめでとうございます。
今年もよろしく
お願いいたします。



福岡銀行

宗像支店 宗像市東郷5-4-5 TEL 0940-36-2017 赤間支店 宗像市土穴2-1-17 TEL 0940-33-7211

平成24年 元旦 明けましておめでとうございます。

宗像大社神符頒布始祭

十一月十八日、午前十時三十分より御本殿において宗像大社神符頒布始祭が厳粛に斎行された。氏子総代約七十名が参集し、本殿は参列者で埋め尽くされた。この祭典を終えるといよいよ新年に向け新たな神札の頒布活動が始まる。

当大社は、古代、九州で唯一「神郡」を持つことが許され、その範囲は、宗像・福津両市を中心にその周辺に及ぶ。以降、地域の総氏神様として篤い崇敬を受けてきた。その御



神縁から毎年、宗像・福津両市の氏子崇敬者の方々へ宗像大社神符を頒布している。

祭典では頒布者を代表し、宗像大社氏子会 置鮎玄二郎会長へ宗像大社神符が授けられ祭典は滞り無くおさめられた。

祭典後、清明殿にて氏子評議員会が開催され正月祭・古式祭・人形献米取り纏め等について協議された。閉会后、氏子総代の方々は各地域へ頒布する宗像大社神符・人形を手に大社を後にした。

尚、例年神宮大麻頒布始祭も当大社で併せて斎行していたが、本年は十一月二日、宮地獄神社にて斎行され、併せて永年に亘り神社界に寄与された方々に対する「福岡県神社庁表彰」の伝達式も行われた。当大社からも一名の方が表彰された。

平成二十三年度

福岡県神社庁神社功労者

定例表彰

◆宗像大社 沖・中両宮奉賛会

福岡 清美

節分祭の御案内



本年も下記日程で節分祭を斎行致しますので、皆様振るってご参列下さい。

宗像観光協会主催 豆まき

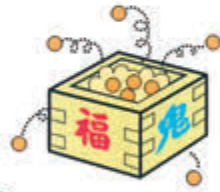
1月29日(日)

◆豆まき 午前11時～
於=本殿横 特設舞台

2月3日(金)

◆節分祭 午前11時～
於=本殿

◆豆打ち式 午前11時30分～
於=本殿横 特設舞台



人と技術の未来を創造する

Human & Technology

三島光産が永年培ってきた技術やノウハウそして製品たち
実は私たちの身近にたくさん活かされています



三島光産株式会社

代表取締役社長 三島 正一

本社/北九州市八幡東区枝光二丁目1番15号 Tel 093-671-8500 Fax 093-671-8503

平成24年 元旦 明けましておめでとうございます。

中津宮 二夜三日祭

〜至誠の人を偲ぶ〜

去る十二月五日、大島中津宮にて二夜三日祭が斎行された。

この祭典は江戸中期の庄屋・大島弥一郎重高大人の遺徳を偲び、顕彰する神事で、以前は旧暦の十一月一日から三日間中津宮に参籠し行われていたが、現在は毎年十二月五日に斎行されている。

当日は日和に恵まれ、午前十一時中津宮本殿にて祭典斎行。齋主が御神徳と大島弥一郎重高大人の遺徳を称える祝詞を奏上、次に齋主、大人のご子孫大嶋和敏氏(福津市在住)、神事世話人代表、JAむなかた大島支店長が其々玉串拝礼を行



顕彰碑

津宮照海殿にてお籠もりし、午後二時より神助報賽と来年の五穀豊穡を祈念する「結願祭」が斎行された。

い、続いて中津宮近くの高台に建つ大人の顕彰碑前に移動し拝礼を行った。次に一同は中

大島弥一郎と

二夜三日祭

江戸時代中期・享保十七年(一七三二)、イナゴの大発生に端を発する大飢饉が西日本一帯を襲った。「享保の大飢饉」と呼ばれ、餓死者は一万人以上といわれている。当地宗像においても被害は免れず、特に離島の大島では田畑は少なく、日常穀物の食料は大半を内地に依存していたが、この大飢饉で

救援を絶たれ、悲惨を極めていた。この惨状を目の当たりにした時の庄屋「大島弥一郎重高(通称：弥一郎)」は自家の蓄米はもとより自らの生活を削り、飢えに苦しむ島民に分け与えた。幸い翌年の収穫は平年並みに回復し、飢餓の危機から脱した

ものの、島は疲弊しなお困窮に嘆いていた。しかしこうした窮状下においても藩庁の租税の取立ては厳しかった。到底、島に租税負担の力のないことをみた庄屋・弥一郎は再三藩庁に減税の嘆願をしたが、藩役人は一向に聞き届けてくれない。ついに意を決した弥一郎は単身藩庁に赴き直訴に及んだ。

時は封建の世にて直訴はご法度であり、あえてこれを為す者は厳罰に処せられたが、それを覚悟の上で藩主に島の窮状を陳べ、租税の減税を訴え出たのである。そして弥一郎は捕らえられて、獄中の身となった。その知らせを受けた島民は悲哀の情極まり、今は神助を仰ぐしかないと中津宮に参籠し、二夜三日の参籠を行い、只管庄屋の助命を祈願した。そんな島民の真心と弥一郎の至誠が大神に通じたか、ついにその罪を許され旧職に復することを得たばかりか、租税も軽減され、ようやく島に明るく春が帰ってきた。

それ以来、毎年秋の収穫が終わった時期に島民は中津宮に参籠し、神恩に感謝し、庄屋・弥一郎の遺徳を慕って二夜三日の報賽のお祭りを行っている。

エアコンの取付工事も OMAKASE!

キッチンのリフォーム工事も OMAKASE!



お風呂やトイレ配管工事も OMAKASE!

床暖房の工事も OMAKASE!

住まいのことなら、何でもおまかせ。



本社:福岡市南区那の川1-23-35 〒815-0081 TEL.092-523-1691 <http://www.kyudenko.co.jp>

🌸 平成24年 元旦 明けましておめでとうございます。🌿

ロボットの新たな進化 小型モビリティ安全祈願祭

は別個のコンセプトで、人の移動支援を目的

十二月十三日、当大社祈願殿にて小型モビリティ(ピークル)の開発・安全祈願祭が執り行われた。

今回の祈願祭は、宗像市所在のロボット開発の雄・(株)テムザック(代表取締役・高本陽一氏)が提唱し、同社を始め協力関係にある(社)ペーダ国際ロボット開発センター・興和テムザック(株)・(株)サンワハイテック・九州大病院リハビリテーション部の五団体合同の祈願祭である。小型モビリティ(ピークル)とは、一般自動車と



とした新しい乗物を指す。室内用・医療介護用から公道用など幅広い派生モデルがあり、今まで培ってきたロボット開発技術が応用されている。当日は、「ユニバーサルピーグルロテム」・「デンマーク用ロテム」・「ロボット」・「スタビィ」等の力作が御神前に持ち寄られた。

祭典では、開発事業全体の発展・利用者の安全を祈念する祝詞の奏上、関係者代表の玉串拝礼が行われた後、モビリティの御祓、報道関係への紹介・試乗が行われた。

(株)テムザックの当大社での開発物の祈願は、平成十八年の二足歩行ロボット「キヨモリ」以来、二回目である。ロボット・モビリティ等の開発は、



我が国の将来を担う次世代産業として期待され、国際間の競争は熾烈の様相を呈する。関係者皆様の今後の御活躍を心よりお祈り申し上げます。

正月警備打合せ会

十二月七日、午前十一時より当大社清明殿にて正月警備打合せ会が開催された。

大混雑が予想される(例年、三ヶ日で約六五万人が参拝大晦日から三日迄)の警備体制を協議する重要な会議である。

当日は宗像警察署・宗像地区消防本部・宗像市消防団・宗像市役所・地の田島、深田区・宗像土木事務所・西鉄バス宗像等の関係団体が参集。参拝者の皆様を安全にお迎えする為、交通規制を中心に防火・防犯体制、緊急時への対応等が協議された。



謹賀新年

新しい年が素晴らしい一年となりますよう
皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます
2012年元旦



ダイドービバレッジサービス株式会社
福岡東営業所
092-663-2310

ダイドードリンク株式会社
西日本営業部福岡オフィス
092-663-2171

ダイドービバレッジサービス株式会社
福岡南営業所
092-574-4642



40周年記念「宗像大社短歌大会」

宗像大社短歌大会実行委員会 山崎公俊

十一月二十日(日)、七五三詣で境内が賑わうなか、今年で四十回目を迎える宗像大社短歌大会(主催Ⅱ宗像大社短歌大会実行委員会、共催Ⅱ毎日新聞社、後援Ⅱ福岡県、宗像市、宗像大社ほか)が清明殿において開催された。

午前九時半より始まった小中高の部には一、二、三〇首の出詠があった。桜川冨子先生による作品選評は終始和やかなムードで進行し、約百名の出席者は熱心に耳を傾けていた。

正午からは一般の部が行われ、過去最高の二五四首の出詠があった。青木昭子先生、野田光介先生、五所美子先生、桜川冨子先生によって入賞作品と当日出席された方々全員の商品の選評が行われ、先生方のユーモアに和みつつ、また選評を聞き漏らすまいとする静かな緊張感のうちに進んだ。

表彰式では、先生方から入賞者には賞状と賞品が授与され、会場に拍手が快く響いた。

又、天野玲子先生による講演(題目「台湾万葉集について」)が行われた。かの地の人々が東日本大震災に際して真っ先に多大のお見舞いを送って下さったことから語り始められ、彼等の歴史に触れつつ台湾の方々の歌を紹介された。静かな感動が会場に満ちていた。



主な受賞者は次の通り。

一般の部

◆福岡県知事賞 山崎 碧 福岡市

世の後のあると思はず垂直に

くるかなしみはこれの世のもの

◆福岡県教育委員会賞 山崎 碧 福岡市

とんと昔の民話のごとき日暮れなり

深まる秋の縁に腰かく

◆宗像市長賞 矢野佐恵子 宗像市

季ならぬとんぼが群れて飛ぶという

背に精霊を乗せ行くならむ

◆宗像市教育委員会賞 加藤三知乎 筑後市

否定から入るあなたにさくさくと

紅き母のこおりをくすす

◆毎日新聞社特別賞 喜入シゲ子 うきは市

立ち仕事生業なれば痛む膝に

声を掛けたつ今日も働く

◆宗像大社宮司賞 中村 重義 北九州市

お大事にと言いつつすでに医師の眼は

次の患者の方を見ている

◆宗像大社氏子会賞 巻 桔梗 宗像市

「亡くなられた方々」の名が震災の

報の紙面を灰色に染む

高校生の部

◆宗像市長賞 高尾小百合 宗像 2年

ピリリリリ二段とばしてかけ上がる

遅刻まぬがれる電車でセーフ

◆中学生の部 宗像市長賞 小野日菜 福岡女学院 2年

縁側で涼しげに唄うカラカラと

ラムネの中の小さなビー玉

小学生の部

◆宗像市長賞 佐藤日彩 神興東 2年

スイカはねみんな大好きつめたよ

たねをとばすよプッププップ

謹んで新年のご挨拶を申し上げます



SF CALL CENTER : 0570-07-3200
http://www.starflyer.jp

株式会社 スターフライヤー
代表取締役社長 米原 慎一

平成24年 元旦 明けましておめでとうございます。



新年を迎えるにあたり十二月十日、辺津宮本殿・第二宮・第三宮の大注連縄の付け替えが行われ、菓の香りが漂う真新しい注連縄が大島の沖・中両宮奉賛会、同翼賛会十五名の御奉仕により無事に取り付けられた。

この注連縄は、十一月中旬辺津宮の総代・協力会総出で菓すぐり作業を行い大島へ送った菓を、沖・中両宮奉賛会・翼賛会の御奉仕により、出漁出来ない時化の時を見計らって大注連縄が縄われた。長年の経験と知識が必要であり、三十年余り前から大島で奉製されている。

大注連縄付け替え

古式祭準備

十二月十二日、古式祭で使用される栗箸などの奉製作業が地元総代奉仕のもと行われた。

栗箸は古式祭御座で参列者が使用するもので、栗の木の枝を規定の長さに切り、形を整え三百膳準備された。他にも、ご神前にお供えされるゲバサモ(海藻)・菱餅・蜜柑の原種である九年母で構成される特殊神饌「御菓子」を盛る菓子台、神様に使って頂く柳の枝を削って作る柳箸等が奉製された。



古写真探訪 沖ノ島

NO.4

今回は面白い写真を御紹介します。撮影年は昭和五年。後方に沖ノ島和船五隻を綱で結び合い、動力船で引張ってもらっています。本土の方に帰っているのでしょうか。因みに沖ノ島から大島まで五〇キロ、本土まで六〇キロの距離があります。

大島の漁師さん達に見せたところ、皆驚いていました。当時の人々の力強さを感じさせる一枚です。



TOYOTA

福岡県トヨタ販売店グループ

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

福岡トヨタ自動車株式会社

取締役社長 金子 直幹

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4丁目8番28号
電話(092)761-3331

トヨタカローラ福岡株式会社

代表取締役社長 有田 耕一

〒810-8603 福岡市中央区長浜2丁目1番5号
電話(092)712-7111

ネットトヨタ北九州株式会社

取締役社長 宮里 宣哲

〒806-0041 北九州市八幡西区皇后崎町14番6号
電話(093)642-2111

福岡トヨペット株式会社

代表取締役社長 中尾 潤一

〒812-0008 福岡市博多区東光1丁目6番13号
電話(092)411-1121

トヨタカローラ博多株式会社

代表取締役社長 久恒 兼孝

〒812-0042 福岡市博多区豊2丁目3番50号
電話(092)441-2111

平成24年 元旦 明けましておめでとうございます。

干支はりこ 新しい干支縁起物 干支絵馬

木型に紙を貼り、乾いてから型を抜き取ったものを「張り子(はりこ)」と申します。

張り子は動物や達磨、また幼児の玩具として親しまれてきました。おなじみの方も多いのではないのでしょうか。本年も干支張り子を縁起物として授与致します。

張り子の中に鈴の入った「紙音」、干支のたつが破魔矢を持った「破魔矢たつ」、首の部分が動く「首振りたつ」の三種類です。

絵馬は本来神社に奉納する馬絵の額ですが、後に祈願や奉謝の気持ち、或いは時代の象徴として様々な画題が描かれるようになりました。そして今日では安寧の験としてご家庭、職場にも奉斎いただいております。

今年の干支「たつ」をモチーフに、子孫繁栄の願いを込め親子で描かれています。

裏面に願い事を記し、境内「絵馬堂」にお掛けいただいても結構ですし、(大)は木製の足も付いておりますので、ご家庭や職場で奉斎し平穏な幸多き一年をお過ごし下さい。



干支はりこ (首振りたつ) 初穂料 1,000円



干支はりこ (破魔矢たつ) 初穂料 700円



干支はりこ (紙音・鈴入り) 初穂料 500円



干支飾り絵馬 (大) 箱入り・足付 初穂料 1,000円



干支掛け絵馬 初穂料 500円

今年最初の運だめし

新春『福みくび』

～縁起物からテレビ・カメラなど家電まで～

1回500円(空くじなし) 時間・元旦午前零時～ 場所・辺津宮神門前





 DTPデザイン印刷・WEBサイト制作・各種ムービー制作
HSD エイチエスデー
 〒811-3439 福岡県宗像市三倉17-1
 TEL 0940-36-9012 URL <http://h-sd.co.jp>


株式会社 ハーベスト警備
 福岡県公安委員会認定第581号
 代表取締役 坂上 正晴
 〒813-0044 福岡市東区千早5丁目21-2サンビル2F
 TEL (092)673-0180 FAX (092)673-0190


福岡ダイハツ販売株式会社
 代表取締役社長 内山 邦彦
 〒812-0007 福岡市博多区東比恵4丁目10番11号
 電話(092)411-1330【代表】

理容とんぼ
 〒811-3436
 福岡県宗像市東郷5丁目5-10
 TEL(0940)36-2405




 一般社団法人 **日本自動車連盟九州本部**
 本部長 有田 耕一
 〒814-8505 福岡市早良区室見5-12-27
 電話(092)841-7676【代表】


 玄海灘を望む風光明媚な格調高いシーサイド・コース
玄海ゴルフクラブ
 〒811-3502 福岡県宗像市江口578-18
 電話(0940)62-2233【代表】
 FAX(0940)62-2728



(続)

浜の寄物

262



いいいただき

十二月八日になるときまわって日本開戦のことがよぎる。今年には開戦七十周年である。

遠賀郡波津に行った際、地元の人から真珠湾攻撃を題材にした映画「トラトラトラ」(我・真珠湾攻撃成功せり)のスティール写真を見せてもらって驚いた。

この映画は一九七〇年(昭和四五)の日米合作映画で、撮影は遠賀郡芦屋海岸で、戦艦長門、空母赤城(原寸の4/3)の実物大のセットを作り、その迫力が相当話題になった。そのスティール写真は芦屋町の高台から撮られたもので、海へ突き出た長門・赤城の勇姿が見える。

長門は基準排水量三万九千ト、40センチ砲八門を備えた最新鋭の戦艦で、同形艦に陸



長門と赤城が並んでセットが組まれていた

奥がある。両艦共、国民に愛され「陸奥と長門は日本の誇り」とカルタにも謡われた程である。長門は当初は複雑なヤグラ式マストで、第一煙突を大きく後方に曲げた煙突を採用し格好がよかったのが人気の因だった。昭和九年四月に大改装が行われ二本の煙突は一本となった。

映画製作費は一一億八千万。日本側の俳優には三橋達也、田村高広、東野英治郎、島田正吾、渥美清、十朱久雄、千田是也など、山本五十六には山村聡。アメリカ側の俳優では私が知っていたのは映画「第三の男」のジョセフ・コットンだった。



芦屋の浜に撮影の跡が残っていた

撃を成功に導いた。昭和十八年にソロモン上空で戦死、死後元帥に昇格、国葬にされた。

長門は大戦末期に、横須賀軍港に停泊中アメリカ軍機に爆撃され損傷したが、戦後アメリカ軍に引き渡され昭和二十二年七月、ピキニ環礁で軽巡酒匂、ドイツ重巡と共に原爆実験に供された。空中爆発では沈まず、水中爆発実験でも僅かに傾いた程度であったが、五日後の朝、忽然と海面から姿を消した。尚、同型艦の陸奥は昭和十八年に瀬戸内海・柱島に停泊中に謎の爆沈を遂げている。両艦共、日本海軍を代表する戦艦であったが大きな活躍もなく戦史に名を残すことなく消えていった。長門と共に映画のセットとなった空母赤城は排水量(改装後四一、三〇〇ト)搭載機数九一機、真珠湾攻撃に活躍、機動部隊の旗艦であったが、昭和一七年、ミッドウエー海戦で沈没した。

現在、映画はCGが主流であるが、長門と赤城を実物大に作ったのは凄い。セットの跡は、私が芦屋海岸を歩き始めた頃迄残っていた。

玄海ホテル旅館組合

玄海国定公園の中心

一風光明輝、生魚料理、宗像大社となりー

魚屋本店 ☎(0940) 622122

魚屋別館 ☎(0940) 623355

玄海旅館 ☎(0940) 620001

高嘉旅館 ☎(0940) 621221

御宿はなわらび ☎(0940) 620107

松風荘 ☎(0940) 620120

みなと荘 ☎(0940) 622255

国民宿舎ひびき ☎(0940) 621288

玄海ロイヤルホテル ☎(0940) 624111

🌸 平成24年 元旦 明けましておめでとうございます。🌿

宗像大社歌会詠草

大西晶子選 毎月25日メロ



北九州市 八幡西区

豊田 光子

風のごと手応への無き自由にて水引草の赤こぼれつく
仕事や家事から解放された作者か、手応えがないと感じる
のはそれが生きがいだっただけからかもしれない。寂寥感が残る。

福岡市 若木台

山崎 公俊

青柿の医王院経てつゆくさの坂を登れば冥き高宮
宗像大社・高宮までの道を詠み、季節感がある。結句は
(瞑き)まで言わず、別に高宮の厳かさで一首を。

うきは市 浮羽町

向 則正

名を持たぬ男の初孫は保育器に一つ欠伸して手足動かす
嬰兒の命が丁寧な詠まれた良い歌。(名を持たぬ)など
言葉の使い方も巧み。

宗像市 土六

山本 静子

裏打して生々と見る「わだつみのいろこの宮」の原画しのぼゆ
裏打ちをして大切に飾る複製か。(裏打ちし日々見る複製
の「わだつみのいろこの宮」の原画をしのぶ)としてみた。

福岡市 南区

井田有久衣

庭先の花壇に赤き彼岸花植えしはずなく首をかしげる
記憶にない彼岸花が花壇に咲き首を傾げる作者が面白
い。二句は(花壇の赤き)に。

宗像市 武丸

白土 凌一

テレビ見て共に歌わん心して友と歌いしなつかしの歌
素直に詠まれて気持ち良く伝わる。友と歌った歌は
何だったのか、曲名を入れたい。

福岡市 中央

池浦千鶴子

トランクの音響かせて通る人に行き先きなどを聞きたくをりぬ
車付きの大型トランクを運ぶ音に旅を思う作者、発想
がユニーク。音を聴いた場所を入れられると良い。

宗像市 池田

森 龍子

昼下りの落葉の湿り失せしときいきなり風は転がりて吹く
乾いた落ち葉を風が吹き上げ、転がるような風の動きが見
えたのか。時間の捉え方が独特。結句は(転がること吹く)に。

宗像市 東旭ヶ丘

天野 玲子

大き仕事一つ終えたるこの夜は湯槽の中で口笛を吹く
大仕事を無事に果たした安堵感で心が軽い作者。口笛が雄弁。

北九州市 戸畑区

田中ハツセ

片身なるみかん一樹を中庭に今年も色づく百五十ヶ程も
半分の樹形で実をつける樹の健気さ。(中庭の片身とな
りしみかんの樹今年も実付く百五十個ほど)としてみた。

福岡市 星ヶ丘

佐々木和彦

ライトアップさるる露天の湯に入れば歌碑にしてよき岩の陰りぬ
夜の露天風呂の岩に注目した発想が面白い。岩が歌碑そのも
のなのか、歌碑にしたいものなのかが分からないのが惜しい。

宗像市 田久

巻 桔梗

ふるさとの車越くへば六歳の舌の粘膜上皮がひらく
望郷の歌。六歳が、作者の過去か、目の前に居る六歳の子供なの
で迷った。舌の粘膜上皮を(味噌)など短くし、六歳を分かり易く。

福岡市 若木台

野間 精一

鴨の数今朝は二百を越えたるか久末ダムに鶴翼の陣
水面に浮く鴨に歴史好きの作者は戦陣を連想したのだ
ろう。ロマンを感じさせる凛とした一首。

宗像市 日の里

大和美由紀

夕顔は初冬の庭に二つ三つ真白き花を咲き続けをり
素直に詠まれ、余韻がある。主語夕顔と・述語咲くの間
が離れているが、近づけると一首が引き締まる。

北九州市 八幡東区

永田クミ子

遠動で別れし友は十余年白寿祝いて胡蝶蘭贈らる
転動で会えなくなった友に白寿祝を贈られた作者。(転動
し十余年たつ旧友に白寿祝いと蘭を贈らる)としてみた。

選者詠

水源に雪はふりるん蛇口から
はしる若水いたく冷たく
青鷺の発ちし水の面に
波紋生れうつる冬空ゆらりゆらりす

1月祭事暦

1日	元旦祭 午前7時～ 総社地主祭 午前9時～ 総社祭 引き継ぎ 高宮地主祭 高宮祭、第二宮・第三宮祭、末社祭
2日	新年二日祭 午前9時～
3日	新年三日祭 午前9時～ 午前10時～ 宗像護国神社新年祭
10日	恵比須祭 午前11時～
13日	献米奉告祭 午前11時～
15日	月次祭 成人祭 午前10時～ 高宮祭、第二宮・第三宮祭 午前11時～ 総社祭・成人祭

編集後記

明けておめでとう
うございませう▼昨年
は我が国にとって受難の年でした。東日本
大震災では自然の力をまざまざと見せつ
けられ、自然に対する人間の無力さを認
識させられました。それに福島原発の事
故。未曾有の被害からの復興は遅々とし
て進んでないように思えます▼ここ数年、
否それ以上といつてよいかも知れませ
んが我が国の雰囲気は沈み込んでい
るように思えます。今年こそは、我が国再興のき
かけとなる年になればと切に思います▼皆
様、本年も宜しくお願い致します。(松)

発行所
宗像大社事務所・宗像会

住所 千八二一三五〇五
福岡県宗像市田島三三三
電話 (〇九四〇)六一三三二(代)
発行人 葦津幹之
編集人 大塚宗延・松林拓
制作・印刷 セナラルアサヒ

毎月1日発行
定価1年送料共 1,000円